

茶・ちゃ・チャ

発行

茶道裏千家淡交会新潟青年部

発行責任者

部長 阿部美栄子

平成25年1月より、あさひ・上越・とき青年部が一つとなり「新潟青年部」としての活動が始まりました。

各委員会では、顔合わせも済み今年の行事に向かって動き始めています。

「新潟青年部」広報誌もここに第一号を発行することとなり、新潟支部幹事長の團原先生と新潟支部育成委員で青年部担当の中村先生よりご挨拶をいただいております。



青年部らしいお茶を

新潟支部幹事長 團原宗蒲

三青年部が一つになった新潟青年部の発足、おめでとうございます。今年は、新潟青年部の体制づくりの年になります。夏には、役員研修会、秋には新青年部発会式が予定されています。新たなスタートにあたり、考えて欲しいことがあります。

お茶を始めて20年くらい過ぎ、旅先で骨董屋を巡ったり、産業会館やデパートの骨董市に行ったりしていた頃でした。表千家をやっている友人と表千家のY先生のところへ遊びに行き、古いお道具を見せていただいた時のことです。

Y先生は、お道具を見てくださり、時代や特徴を説明してくださりながらおっしゃいました。「あなたが席持ちする時、貸して欲しいと言えばいつでも貸してやるよ。でも、分に合わない道具は借り物でしかない。自分らしいお茶をやるのが大事だよ。」その時、先生が手にされていたのは一入の黒茶碗でした。

お茶で大切なものは、「もてなす心」だと思います。自分なりの知恵を働かせ、どうしたら心を伝えることができるかを考え、工夫することが大切です。茶道具はあくまでも、心を伝えるための道具でしかないと思います。

青年部の会員の多くは、社会の中堅として活躍している方々です。社会人としての経験を生かし、皆でアイデアを出し合い、人まねでない青年部らしい活動が出来る組織を作り上げて下さい。そして、とらわれない青年らしいお茶を楽しんでください。



3 青年部発足時の思い出

青年部育成委員会副委員長 中村宗元

今年から再び3青年部から1青年部として活動する、新青年部が発足しました。20年前、3青年部発足に向け当時の役員三人で、京都の総本部までお話を伺いに日帰りで行ったことを思い出します。そのころの青年部は、今と同じ1支部1青年部で会員は400名を超えていました。このころの大きな課題は、活動に参加しないスリーピング会員をいかに少なくするかでした。ブロック会員大会等で、夜遅くまで諸先輩方が激論する姿を今でも良く憶えています。活動を活性化し、スリーピング会員を極力少なくする為、80名位の3青年部（「とき」「あさひ」「上越」）が発足しました。茶事形式の小寄席茶会も許され、自由でのびのびと熱い心で活動を始めました。各グループでの活動が活発に進んでいると思えた1年後、先生方から「青年部活動が忙しくて、お稽古に来なくなった」「教えていない事まで憶えてくる」などの声を耳にしました。青年部三役は会員に対して「学校が社中だとすれば、クラブ活動が青年部活動のようなものですから、社中のお稽古には必ず行って下さい」「青年部員同士で教え合うのではなく、分からない事は先生から教えてもらって下さい」と事あるごとにお願ひしました。先生に対して

『ほう・れん・そう』報告・連絡・相談の大切さ、師弟子の良好な信頼関係があつてこそ、青年部活動も活性化すると思います。このことは、親（先生）子（青年部員）の最も大切な基本関係です。

それぞれ活動スタイルが異なる3青年部が一つになって活動するのは、大変だと思います。「限りある財源をどのように使うのか」「県内に点在する会員をどうまとめていくのか」などの課題があります。まずは、しっかりとコミュニケーションを取ることから始め、お互いを理解し尊重し合うことが大切です。

そして、青年部活動は楽しくなければなりません。「奉仕と修練そして友情」を柱に、のびのびと活動して下さい。

皆さんの悩みや問題点などに、何時でも相談に乗りますので気楽に声をかけて下さい。

新潟青年部スタート

部長 阿部美栄子

新潟青年部としての出発となる年に部長という大役を務めさせて頂くことになりました。先生方、他の役員、会員の皆様にご協力をいただきながら、この二年間を貴重な経験としてとらえ頑張りたいと思っておりますので。何卒よろしくお願い申し上げます。

新たな青年部の年間テーマは「温故革新」。

あさひ・上越・ときと19年間それぞれに活動をしてきましたので、お茶会・その他の行事・会議などのやり方について、今ではその青年部のカラーが出来上がっていました。最初はそれぞれのやり方で違う部分を感じると思いますが、今までの青年部での良いところを継続しながら、少しずつでも構いませんので新しいことを考えていきましょう。

役員挨拶

平成25・26年度役員は下記の20名となっております。
皆さんが活動しやすい新青年部の体制作りを目標に二年間務めさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

役員より挨拶&一言
「今年の目標・やりたいこと」

部長 阿部美栄子

新青年部となり最初の年、
会員数も多くなり、時間がかかるかと思いますが、皆さんの顔とお名前を早く覚えられるようにいたします。

副部長 吉村潔

これから宜しくお願いします。
初めは新青年部に不安がありました。でも皆様と会える事・知らない地に行く事も楽しみと思う事が出来ました。
このように自分の範囲があと半歩を挑戦する事により、楽しい青年部になると思います。

副部長 鈴木利恵子

平成25年1月に新潟青年部が発足いたしました。

4月には新潟から様々な分野の情報発信の場として、北前船をイメージした“メディアシップ”が誕生し、秋には新潟青年部もここから出航いたします。

2年間の限られた時間ですが、私自身も皆様と情報交換しながら、青年部活動を楽しみ、その良さを次の方へつないでいかれるように努めていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

副部長 小熊圭子

今期 交流委員会副部長を務めさせていただきます

自他共に認める“デジタルな女”ですが、今年目標はずばり“手書きのできる女”です。

「私はアナログで～」と謙遜する人が多いですが、手書きの必要性を感じるこの頃です。

副部長 石川史嗣

一人でも多くの方と出会いたい。
そして、お茶の楽しさを伝えたい。

幹事 小林昌子

美と健康（メタボ予防？）の
ためにウォーキング！！

ゆるゆると始めたいと思いま
す。

幹事 白鳥恵美子

着物を着たくてお茶を始め、お菓子や料理が食べられるから続けてきた…不純な動機満載の私ですが、任期中は真面目に頑張りたいと思いますm(＿)m

今年の目標：もっと見る目を養う！

（色んな意味で）

総括幹事 小林一彦

合併一年目ですので、それぞれの役割を確認しつつ、総括幹事の立場で部長が少しでも楽になるように助けられたらと思います。

幹事 任海学

ここ数年取り組んでいる仕事を終わらせたい。

幹事 亀田洋子

今年の新体制移行の第一歩の年です。沢山の新しいご縁を頂けることは大変有難く、楽しみです。日頃は何か事にも引っ込みがちなのですが、活動の場が広がる中で、今年は少し積極的に様々な事に挑戦してみたいと思います。

幹事（会計） 藤塚裕子

「すぐやる。必ずやる。出来るまでやる。」ある企業のリーダーの言葉です。私の不得手とするところなのでとても難しいことですが、この言葉を少しでも実行できるよう、何事に対しても果敢に『挑戦』の年にしたいと思います。

監事 常木雅子

監事をさせていただきます常木です。

先日鉢植えの一輪草をもらいましたので、「茶花を育ててみる」を今年の目標にしようと思います。

初心者の私でも育てられる茶花初情報がありましたら教えてください。

2年間どうぞ宜しくお願いします。

幹事（会計） 斎藤夏湖

平成25年度会計の仕事を担当させていただくことになりました。

個人的に異動や引っ越しで慌ただしく、気持ちが落ち着かない春のスタートでしたが、一服のお茶を飲んで落ち着いて会計の仕事にあたりたいと思います。

一年間よろしくお願いいたします。

交流委員会委員長 渡辺元子

新青年部となり、私自身が全て手探りの状態で行事等進めていく事になると思います。
皆さんと協力し意見を聞きながら行っていきたいと考えております。
まずは皆さんが“楽しく”“楽しんで”行事が出来るよう、努めたいと思います。
よろしくお願い致します。

上越委員会副委員長 小山留美子

本年度から3青年部が一緒になりました。新潟・上越は地理的にも離れているので、会議等集まるにしてもなかなか難しいと思います。お互い譲歩しあい、協力し1つの青年部として活動できるように努力していきたいと思っています。

私事ではございますが、今までご指導していただいた先生がお亡くなりになり、四月から新しい先生にご指導していただくことになり、違った環境での勉強なので不安と期待で一杯です。二つ異なった事が重なったのですが、初心に返り新たな気持ちで「自分にとってのお茶とは？」と問いかけながら学ばさせて頂きたいと思っています。

交流委員会副委員長 大島摂子

交流委員会副委員長をやらせていただいております猪股社中の大島です。

「興味のある事はより深く、いままでやった事の無い事にも興味を持って出来るように自らきっかけを作るようにする」です。どうぞよろしくお願い致します。

上越委員会委員長 小嶋陽子

時間を有効に使えるようになりたいです

研修委員会委員長 赤坂祐二

皆様こんにちは。赤坂祐二と申します。今期、研修委員長をさせて頂きます。
新青年部の船出であり又、最後の役員任期、一所懸命頑張ります。宜しくお願い致します。

さて、茶の湯以外の今年の目標ですが・・・結婚します！！
といっても予定が有るわけではないので、その為の環境などを準備する。そんな年にして、上手くいけばそうしたい。という事です。
何せ、独身男はナメられるので(笑)。

上越委員会副委員長 池田誠

上越からお世話になります、富澤社中の池田誠と申します。ご縁をいただき茶道の世界にお邪魔し、多くの方々と楽しい出会いをいただきました。青年部に参加して良かった、と感じて頂けるようがんばりますので、お力添えお願い致します。

研修委員会副委員長 須藤美都子

今年やりたいことは、少し視野を広げて、大人が社会人として為すべきことを考えたり、行動したりしたいと思っています。でも、子供が手を離れ少し時間ができるかと思いきや、今度は家庭や仕事が忙しくなってきた。きっと今年も、バタバタと慌ただしい1年になるのでしょうか。

行事報告

新潟青年部総会

総括幹事 小林一彦

去る3月3日 日曜日、新潟市の燕喜館において新潟青年部として初めてとなる総会が、柳本宗閑先生、團原幹事長先生、中村青年部担当先生ご臨席のもと、開催されました。

総会に先立ち、柳本宗閑先生より、新潟における青年部設立当時の貴重なお話を頂きました。

総会では、行事案、予算案が提起され、承認されました。また、3つの委員会より今年の活動について説明がありました。



行事予定

奏風茶会

日時：4月28日（日）

10～15時

場所：遊神亭（新潟市白山神社内）

茶券代：300円

ラフォルジュルネ最終日に交流委員会による茶席です。

モーツァルトを楽しみ、お茶を楽しみに、気軽にお出かけ下さい。

上越淡交茶会

日：4月21日（日）

場所：高田別院

時間：10～15時

茶券代：4000円

上越委員会が薄茶席を担当いたします。

茶券は、お社中の先生にお申し出ください。

新入会員歓迎茶会

日：6月30日（日）

その他詳細：後日ご案内いたします

25年に入会された新入会員の方をお招きいたします。

新入会員の皆様には、是非ご出席いただきたいと思っておりますので、今からスケジュール表に◎をご記入下さい。

懐石勉強会

日：7月28日（日）

場所：燕喜館

講師：中尾英力

富山市「万惣」店主

会費：5～7千円（参加人数次第）

お知らせ

一支部一青年部となり力を合わせて活動をしていくこととなりました。これを記念して、式典および講演会を下記の通り開催することになりました。

一年目で大きな行事を行うことになりますので、会員の皆様には準備当日のお手伝いを是非お願いをしなければなりません。詳細は後日連絡致しますので、何卒よろしくお願いいたします。

日 : 9月8日(日)

会場 : メディアシップ(新潟日報社)

内容 : 茶席

式典

講演会

講師 : 関根秀治先生(裏千家淡交会副理事長)

演題 : 「茶の湯と陰陽・五行」

募集

新潟青年部 第1号はいかがでしたか？

みんなでワイワイする編集は意外と楽しい作業でした。

こうして完成するととても嬉しいものですね。

そこで、今後の「茶・ちゃ・チャ」発行に向けて編集作業をお手伝いして下さる方を大募集いたします。

隠れた才能を発揮する場があります！！

一緒に楽しく編集作業をしませんか。興味のある方、連絡をお待ちしています。

応募資格 : 特に問いません(アナログ派・デジタル派どちらも募集中)

連絡先 : 役員 または 副部長 石川史嗣 まで

編集後記

雑談のほうが多い編集作業は、はかどらないものの結構面白かったです(^;) (こ)

役員挨拶はそれぞれの個性が出ていて楽しいですね(^o^) (お)

初めての編集作業、第一号発行感激です。パソコンの使えない私でもできました(^o^)/ (み)